

# 東海新報

2012年3月1日

## パソコン熱心に

### 仮設住宅の初心者

末崎町

NPO事業サポートセンター（東京都港区）主催のパソコン講習会は27、28の2日間

にわたって大船渡市末崎町のふるさとセンターで開かれた。仮設住宅などで暮らしている初心者など15人が参加し、熱心にキーを打っていた。

指導には復興支援ITボランティア（東京都）の丸山修さん（霞が関ナレッジスクエアIIと都内の大学生5人が当たった。受講したのは40代から70代の主婦が中心

で、中にはパソコンに触れるのが初めてという人もいた。

講習は、お茶や菓子の差し入れもあって、指導者と受講者が一体となり行われた。文字の入力、名刺・チラシ作成、インターネットアクセスの仕方などを学び、ブログの立ち上げにも挑戦した。

パソコン初体験の平林仮設住宅に住む滝田美和子さん（78）は、一時間を持て余しているので講習会を聞きつけて参加しました。やってみると面白いもの

です。病みつきになりそう」と笑顔を見せていた。

同講習会は、NTTドコモやマイクロソフトなどIT企業の協賛

で、「被災地を支援しよう」と事業サポートセンターが昨年5月か

ら気仙両市の仮設集会所や公民館で月1、2回開いている。1月末現在で50人以上が受講した。

次回、末崎地区でのパソコン講習会は、3月下旬を予定している。



操作のポイントを指導者から学ぶ参加者＝末崎町で

以上の通り掲載しました。

復興支援ITボランティアの丸山修様はじめ、大学生のみなさま 当地でのIT講習会開催およびご指導ありがとうございます。

東日本大震災・巨大津波で被災したのものにとって大きな希望と勇気を与えて頂きました。時代の先端に行くPCの操作技術をご指導いただき、参加者も笑顔でいっぱいです。これまでの自分の視野が大きく広がったと大喜びです。次回開催が楽しみです。最後になりましたが、NPO事業サポートセンターの吉澤卓様にもよろしくお伝えください。お礼まで。

まっさきパソコン同好会 代表 梅澤 直